

森林組合報

第98号

《編集・発行》

鹿角森林組合

鹿角市花輪字合野 18-3

☎ (0186) 23-3315

FAX (0186) 23-3475

印刷/こさか地域生活
支援センター印刷

新年のご挨拶



代表理事組合長 関 重征

新年明けましておめでとうございませう。輝かしい新年を迎え、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より、当組合の事業推進に特段のご理解とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

昨年は、政権交代が行われ、第二次安倍内閣が発足し、金融政策、財政政策、成長戦略の二本の矢を柱とするいわゆるアベノミクスが本格始動しました。円高から円安にふれ、輸出を中心とした大手企業は軒並み業績を回復させております。又、消費税のかけこみ需要、東京オリンピック開催決定、震災復旧工事等もあり、日本経済は上向きになっておりますが、秋田県、当鹿角地域ではその効果を実感できるものとはなっておりません。林業、木材産業においても、厳しい状況が続くものと考えております。

八月九日には鹿角地域が「かつて経験したことのない豪雨」となり、いたるところで被害が発生し、林道、作業道でも未だ復旧できない箇所もあり、搬出間伐等の事業を実施できないという事態になってしまいました。その一ヶ月後には、再びの豪雨ということでも「かつて経験したことのない災害」がこの短期間に発生するとは、自然の力に改めて驚かされました。木材価格は春先から少しずつ中目丸太が市場単価を引っ張る形で上昇し、年末には価格の高騰も見られるようになってきております。しかし、原木流通の動向は消費税増税を前にした一時的な住宅のかけこみ需要によるものであり、長期的には依然として、不透明感があり、あまりにも丸太価格の上昇が早く、製品価格がついてこられず、丸太価格の独り歩き状態です。少なからず、その上昇分が山元へ還元されれば良いのですが、現実には厳しい状況が続いております。このような中、昨年十二月に政府において「農林水産業、地域の活力・創造プラン」が正式決定され、その中で林業の成長産業化が組み込まれました。

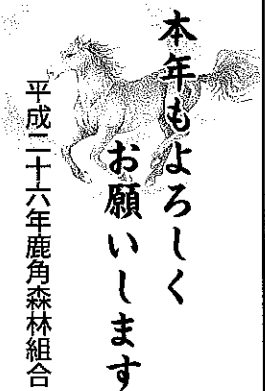
公共建築物への木材化などにより、木材需要増加を図り、二〇二〇年までに国産材の供給量を三、九〇〇万m³まで増加させ、今後、毎年五〇万haの間伐等を実施させる計画を打ち出しております。これらの進展に多いに期待したいところです。

最近、木質バイオマスが注目され、燃料として林地残材の活用が求められております。当組合では、それに対応するためにも早く、行政当局の特段のご理解をいただき「移動式チップ生産システム」導入を進めております。これは従来、チップ工場で丸太をチップ化していたものを山元でチップ化できるシステムで需要先へ安定供給することにより、今まで無価値なものを資源として活用して参ります。

鹿角森林組合は今後も、地域の森林を守り育て、組合員皆様と共に成熟期を迎えている森林を適切に把握、管理できる森林経営計画を作成し、順次、事業実行し、森林所有者が多くの林業収入が得られるよう努力して参ります。「鹿角地域の森林は組合が守る」という信念のもと、信頼される森林組合であるため、役員一同頑張つて参ります。

今後とも一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。組合員皆様の「ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

代表理事組合長 関 重征



本年もよろしく

お願いいたします

平成二十六年鹿角森林組合

代表理事組合長 関 重征

副組合長 宮野 和秀

理事 栗山 一彦

成田 一三

成田 尚平

齊藤 策徳

奈良 誠市

齊藤 長助

杉原 仁志

安保 誠一郎

秋本 隆悦

沢田 督美

代表監事 北村 義孝

監事 関 和也

阿部 清豊

参事 関 清明

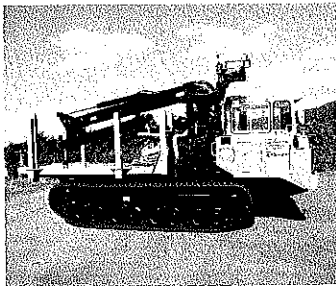
外職員 一同

収入間伐は今がチャンス!!

造林補助金制度の改正により間伐事業は60年生まで補助対象になります。森林経営計画を作成した山林は、100年生まで補助対象になります。森林組合では、今まで補助対象にならなかったため手入れが行き届かなかった山林や、林齢が高くなり最近間伐をしていない山林を中心に集約化を図り、収入間伐を実施しております。現在丸太価格は市場出荷量の不足から全般に高値で推移しており、間伐は今がチャンスです。

平成25年9月に新たに4tグラップル付フォワーダ1台を導入いたしました。これにより当組合が保有する高性能林業機械は、プロセッサ2台・フォワーダ4台となり今後の素材生産量の増加と生産コストの低減に努めます。

当組合では平成25年度より、森林施業計画を森林経営計画に切り替えるため、山林調査しながら集約化を図っております。管内の山林全部を一年では作成できないため、順次進めてまいりますのでご協力をお願いします。なお、造林補助制度と森林経営計画の内容が毎年改正されており、昨年の説明と変わっている部分がありますのでご了承願います。



新規導入したフォワーダ



経営計画説明会



間伐後の森林

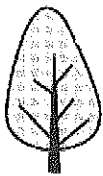
木材市況のお知らせ

鹿角センター12月入札結果 スギ直材（40年生前後間伐材）

長さ	径級	平均単価 (m³)	
4.00m(12尺)	10cm ~ 16cm	8,500 円 / m³	(石当 2,360 円)
3.65m(12尺)	16cm ~ 22cm	11,900 円 / m³	(石当 3,300 円)
3.65m(12尺)	24cm ~ 28cm	15,800 円 / m³	(石当 4,380 円)
3.65m(12尺)	30cm ~ 38cm	11,100 円 / m³	(石当 3,080 円)

注1) 曲材、ガ二腐れ材は直材の約半額です。

注2) 左記価格より各手数料が差引かれます。
(共販手数料5%・はい積料m³当り600円)



補助金を使って、山林の手入れを！

担当：事業課 利用係

森林環境保全整備事業（造林補助事業）

1HA当たり（H26年1月現在）

作業区分	事業費	施業計画	概算補助金	自己負担金	事業内容
除伐A	155,000	有り	110,000	45,000	16年生～25年生迄補助対象とする。伐採率20%以上とする。(26年生以上でも伐倒対象木が18cm以下であると対象となる。)
除伐B	137,000	有り	82,000	55,000	柴類の刈払い及び雑木、不良木を伐採する事業で11年生～20年生迄補助対象とする。広葉樹林は60年生迄対象とする。
枝打ち	190,000	有り	140,000	50,000	原則として11年生～30年生まで補助対象とする。

※ 森林施業計画・森林経営計画を作成している森林が対象です。

森林国営保険について

○造林補助事業における新植、間伐事業につきましては、森林国営保険への加入をお願いしております。



お知らせ 鹿角地方林業振興談話会の開催について

森林・林業を取り巻く情勢は依然厳しいものの、都市部での大型商業施設の建築や木質バイオマスの発電・熱利用が各地で取り組まれるなど変化の兆しも見えてきています。

こうした中、今後の山づくりや林業の方向性をどう持っていったらよいかについて、日本唯一の森林ジャーナリストとして執筆活動を展開されている田中淳夫氏よりご講演をいただく予定です。

(講師プロフィール)

1959年大阪府生まれ。静岡大学農学部林学科卒業。出版社、新聞社を経て、森林ジャーナリストとなる。主な著書に「森林異変 日本の林業に未来はあるか」など多数

開催日時：平成26年2月23日(日) 14:30～(予定)

開催場所：鹿角パークホテル 2階 鳳凰殿

鹿角市花輪字堰向30-1 TEL:0186-22-1111

主催：鹿角地方林業後継者連絡協議会

米代川流域林業活性化センター

協賛：鹿角市、小坂町、鹿角森林組合

後援：秋田県鹿角地域振興局

参加費：講演会 無料、懇親会 5千円/一人

申込先：鹿角地域振興局農林部森づくり推進課林業振興班(佐藤(浩)・小笠原(寿))

電話 0186-23-2275 FAX 0186-23-6085

※所属名称、氏名、電話番号、講演会及び懇親会の参加の有無をお知らせください。



平成26年(春)種駒販売価格表



品名	規格	税込価格	販売開始予定
森式 シイタケ	1袋(1000ヶ入)	2,856円	3月下旬～
森式 ナメコ	〃	2,856円	〃
河村式 シイタケ	1本(500ヶ入)	1,440円	〃
河村式 ナメコ	〃	1,440円	〃
河村式 ヒラタケ	〃	1,440円	〃
河村式 ムキタケ	〃	1,440円	〃
河村式 カノカ	〃	1,440円	〃
河村式 クリタケ	〃	1,440円	〃
河村式 タモギタケ	〃	1,440円	〃
トンビマイタケ菌床	1ケース(6ヶ入)	4,200円	4月下旬～
マイタケ椀木	1ケース(5ヶ入)	5,670円	〃
ますたけ椀木	1ケース(3ヶ入)	3,700円	〃
ヤマブシタケ椀木	1ケース(5ヶ入)	5,670円	〃
マンネンタケ椀木	1ケース(3ヶ入)	3,700円	〃

※ナメコには早生・中生・晩生があります。

※種駒は組合引渡しになりますので、ご了承下さい。

※菌床・椀木は4月下旬～5月上旬の販売になります。ご希望の方は早めのご注文をお願いします。
尚、菌床・椀木も組合引渡しになりますので、ご了承ください。



ご注文、ご予約等は
下記までお問い合わせ下さい。



鹿角森林組合
0186-23-3315

